

# 能面

株式会社 Office May  
福嶋 陽

## ■はじめに

モテュレックスエナジーソリューションズの門馬さんよりリレーを引継ぎました、株式会社 Office Mayの福嶋と申します。門馬さんとはMETでお会いし、色々和相談に乗っていただくなど、日頃よりお世話になっておりますので、これはお引き受けしないわけにはいかない！ということ、METではまだまだ新参者ではございますが、これを機に是非皆様にご名前を覚えていただけるよう頑張ります！

とはいえ、何を書けばよいやら……。過去のリレー放談を読んでみると皆様錚々たる顔ぶれで、内容も幅広く目つティーブ……。自分自身は設計者ではなく営業職なので、付け焼刃な設備設計の知識を書いても太刀打ちできないことは明白です。となれば、自分の半生をさらけ出すくらいでなければ！ということ、私になぜ今この業界にいるのが、この場を借りて少しお話をさせていただければと思います。

## ■照明

学生時代の私は吹奏楽やバンド活動に熱中しており、およそ建築や設備とは無縁の生活を送っておりました(音楽の話も是非したいと思いますが、それはまたいつかの機会に……。笑)。大学もなんとなく英語が好きだという理由だけで、語学系の大学に進学。学生時代で得た建築・設備の経験はゼロだと言っても過言ではありませんでした。

そんな私が新卒で入社した会社が、照明器具の販売・設計・施工をする会社でした。理由はインテリアっぽくて、なんとなく楽しそうだったから……。笑)。もうちょっとちゃんと考えて就職活動をする！と過去の自分を叱りたくなりますが、今思えば建築・設備のド素人だった自分にとっては、照明というのは丁度良い入口であったように思います。

当時はLED電球が始めた頃で、価格は今では考えられない1個1万円！さらには10年間交換不要というキャッチフレーズも相まって大きな話題となっており、照明業界にとって非常に大きな転換期の幕開けとなったと同時に、業界全体が期待と不安に包まれていたことも、新入社員ながら感じておりました。素人ながら照明の勉強をしながら仕事を体験していく中で、必然的に電気のことにも興味

を持つようになり、電気工事士2種をとったことが、「設備」というものとの本格的な出会いだったように思います。CADを初めて触ったのがどういうきっかけだったかはあまり覚えていないのですが、色々和首を突っ込みたがる性分が功を奏したのか、あるいは災いしたかはわかりませんが(笑)、気が付けば設計者の横についてカチカチとマウスを動かしていたので、それも今に繋がっていると思えば、人生ってわからないものですね。

## ■能面

照明の勉強をした中で、とても印象的に残っているのが、「小面」と呼ばれる若い女性を模した能面の照射実験です。能面は一見すると無表情に見えますが、光を当てる方向によってその表情がガラリと変わります。斜め上から当てると優しい穏やかな表情、真上から当てると無機質でどこか不安な表情、真横から当てるとコントラストの利いた凛々しい表情、真下から当てるとホラー漫画かのような恐ろしい表情。能面自体は同じはずなのに、光を当てる方向によって見る側の印象はこんなに変わるものなのか！ということに、照明という分野の奥深さを感じたことを今でも鮮明に覚えています。

少しこじつけのようにはなりますが、この能面の話は仕事にも通じる部分があると感じています。一つのプロジェクトを進めていく中で、我々は設備設計者として関わるわけですが、そこには当然ながら他にも多くの人々が、それぞれの立場で携わっています。御施主様は勿論、建築設計者、意匠設計者、構造設計者、機器メーカー、施工会社。もっと言えば、お店であればそこで実際に働くスタッフの方々、そして将来そのお店にお越しになるお客様。あるいは投資家の方もいるかもしれない。今の時代であれば環境のことにも考慮しないとイケない。じゃあZEBも……。? などなど。これだけ色々な思いが交錯すれば、当然一筋縄ではいかないわけですが、だからこそ面白い！今自分は能面(=プロジェクト)に対してどの位置から光を当てて、どんな表情を見ているのか？他の人達はどうか？決して同じ表情を見ているとは限らない中で、広い視野と理解力をもって、ゴールを目指していくことの大切さの原点のようなものを、この能面の実験から学んだ気がします。というのは少し大袈裟でしょうか(笑)。

## ■おわりに

営業という職種柄、日々多くの方々とお話させていただいていますが、METに入ってさらに多くの方々にお会いできる機会ができ、本当に勉強になります。出会いは宝だなあと、つくづく感じる今日この頃です。というわけで、次のリレー放談をこれまたMETで出会ってお世話になっている、日本リーテックの西川さんにお繋ぎして、放談の締めとさせていただきます。ありがとうございました！